

受付番号： 2020-1-658

課題名：

「神経障害疼痛患者へのプレガバリン、ミオガバリン投与の有効性、安全性に対しての短期間評価における分析」

1. 研究の対象

2020年11月～2022年11月に当院で緩和ケアチームが介入した入院中の患者に対し、癌の有無はかかわらず神経障害疼痛と診断され、レガバリンまたはミオガバリン投与開始の対象となった方。

2. 研究期間

2020年11月（倫理委員会承認後）～2023年3月

3. 研究目的

急性及び慢性神経障害疼痛がある患者さんに対してプレガバリン、ミロガバリンの鎮痛効果および関連する有害事象を初回投与24時間で評価することです。

4. 研究方法

前向き観察研究（対照群をおかないコホート研究）：

上記の症状緩和と目的にプレガバリン、ミオガバリンの使用を開始するときから、痛みの原因や診断、症状や副作用、薬剤の用量を前向きに観察します。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、既往歴、病歴、治療歴、カルテ番号、等

6. 外部への試料・情報の提供

- ・外部への情報の提供はなし
- ・本研究で得られた情報を、将来新たに計画・実施される医学系研究に利用する可能性がある場合など二次利用する際には倫理委員会で承認された後に利用します。

7. 研究組織

本学単独研究

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

遠藤 百恵

東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野 医員

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

TEL022-717-7366 FAX022-717-7367

E-mail m.endo0912@gmail.com

研究責任者

井上 彰

東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野 教授

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

TEL022-717-7366 FAX022-717-7367

E-mail akira.inoue.b2@tohoku.ac.jp

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合